

(平成 29 年度の実績評価)

総合計画体系	政策No.	1	政策名	安全でみどり豊かな人がつながるまちの形成	施策主管課	市民部 環境課
	施策No.	5	施策名	生活環境の保全	施策主管課長名	河野 慎介
施策関連課名			戸籍市民課、八田窓口サービスセンター			

1 施策の目的

① 対象(誰、何を対象としているのか) *人や自然資源等	② 意図(この施策によって対象をどう変えるのか)
市民 事業所 生活環境	市民が環境保全や地域の美化に関する意識が向上する。 市内の川が綺麗になる。 企業やボランティア団体の市民が、市内の環境や美化に意識を持つようになる。 ごみの分別の意識を持ち、資源の再利用につながり、ごみの減量化となる。
対象の大きさを表す指標 ⇒ 2-① 対象指標	意図の達成度を表す指標 ⇒ 2-② まちづくり指標

2 指標の推移、指標設定の根拠等

指標区分、指標名		単位	数値区分	基本計画現況値	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
① 対象指標	ア 市人口	人	見込み値			72,322	72,001	71,680	71,359	71,038	
			実績値	72,963	72,715	72,305	72,018	71,880			
	イ 事業所数(経済センサス基礎調査)	事業所	見込み値			3,161	3,161	3,161	3,161	3,161	3,161
			実績値	3,161	3,161	3,161	3,161	3,161			
	ウ		見込み値								
			実績値								
② まちづくり指標	A 平均BOD値が2mg/l以下の河川の割合	%	目標値			81.0	81.5	82.0	82.5	83.0	
			実績値	80.0	88.0	100.0	96.0	94.0			
	B 地域美化活動参加者数	人	目標値			23,000	23,500	24,000	24,500	25,000	
			実績値	21,095	20,972	20,920	20,750	20,900			
	C アダプトプログラム参加団体数	団体	目標値			18	18	19	19	20	
			実績値	17	19	19	20	20			
	D 市民1人1日当たりのごみ排出量	g/人・日	目標値			507	501	495	489	483	
			実績値	515	565	553	546	524			
	E 廃棄物のリサイクル率	%	目標値			16.3	16.6	16.9	17.2	17.5	
			実績値	15.6	15.1	14.1	13.3	13.5			
まちづくり指標設定の考え方		A: 河川環境の清浄度を示す。 【BOD平均値(年2回調査)が2mg/l以下の河川数÷調査河川数(25河川)×100】 B: 環境保全意識の定着を示す。 【地域清掃等への参加者総数】 C: 団体・企業等による環境保全活動の取り組みを示す。 【登録団体総数】 D: ごみの排出量削減の取り組みを示す。 【ごみ年間総排出量(g)÷人口(3月31日現在)÷365日】 E: 循環型社会への取り組みを示す。 【年間資源ごみ総排出量÷年間家庭系ごみ総排出量×100】									
目標値の設定の根拠(前提条件や考え方)		A: 環境基本計画策定時の現況値(76%)を基に5年間で約5%の上昇を見込む。 B: H24年度実績(23,231人)を基に5年間で約10%の参加者増(H24年度比)を目指し目標値を設定。 C: 現況地を基に5年間で約20%の参加者増を目指し目標値を設定。 D: 一般廃棄物処理基本計画に基づき、H24年度実績(520g/人・日)から約7%減で目標値を設定。 E: H24の県平均17.5%を目標値に設定。									

3 予算等の推移

※当初予算。骨格予算の年度は6月補正後

区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
関連事業本数	37	36	35	35	36	35	
関連事業予算額(単位:千円)	1,007,802	961,236	940,325	928,907	944,186	965,683	
(予算額の内訳)	国庫支出金	2,652	3,730	2,938	3,730	3,730	3,730
	県支出金	37,876	4,990	4,770	5,414	5,874	5,136
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	62,543	61,757	72,510	69,768	67,611	68,718
	一般財源	904,731	890,759	860,107	849,995	866,971	888,099

4 評価結果(施策の有効性評価)

① 目標達成度評価 (目標値と実績値との比較)	
<input type="checkbox"/> 目標値より高い実績値だった <input type="checkbox"/> 目標値どおりの実績値だった <input checked="" type="checkbox"/> 目標値より低い実績値だった	※左記の理由 ・河川環境の清浄度を示す「平均BOD値が2mg/l以下の河川の割合」は、目標値82%に対し実績値94%で目標を上回った。また、地域美化活動の参加者数及び、アダプト・プログラム参加団体数は、ほぼ横ばい状況である。 ・ごみ全体の排出量は微減傾向にあり、「市民1人1日当たりのごみ排出量」も若干減少したが、目標に対して29g下回った。また、「廃棄物のリサイクル率」は目標値を3.4ポイント下回った。
② 時系列比較(基本計画現況値からの推移)	
<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば向上した <input type="checkbox"/> 成果はほとんど変わらない(横ばい状態) <input type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば低下した <input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した	※左記の理由 ・河川環境の清浄度を示す「平均BOD値が2mg/l以下の河川の割合」は、高水準で推移している。 ・地域美化活動参加者数及び、アダプト・プログラム参加団体数は、ほぼ横ばい状況である。 ・廃棄物の収集量(市民1人1日当たりのごみ排出量)は、減少傾向である。 ・廃棄物のリサイクル率は、前年度より0.2ポイント上昇した。
③ 他自治体との成果実績値の比較	
<input type="checkbox"/> かなり高い成果水準である <input type="checkbox"/> どちらかと言えば高い成果水準である <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準である <input type="checkbox"/> どちらかと言えば低い成果水準である <input type="checkbox"/> かなり低い成果水準である	※左記の理由 ・人口規模や収集体系など各自治体が独自の施策を展開しており、一概に比較できないが、ほぼ同程度の状況であると考えている。しかし、資源回収センター方式で廃棄物の収集を行うことにより、収集量の増加と市民の利便性の向上に繋がっている。 ・散乱ごみや不法投棄対策として、アダプト・プログラム事業を展開していることにより、環境保全の意識向上に繋がっている。
④ 住民の期待する成果水準との比較	
<input type="checkbox"/> かなり高い成果水準である <input type="checkbox"/> どちらかと言えば高い成果水準である <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準である <input type="checkbox"/> どちらかと言えば低い成果水準である <input type="checkbox"/> かなり低い成果水準である	※左記の理由 ・河川環境の清浄度を示す「平均BOD値が2mg/l以下の河川の割合」が94%であったことは、市民の生活環境の保全に繋がっている。また、地域美化活動参加者数及び、アダプト・プログラム参加団体数は、横ばい状況で推移している。 ・ごみ全体の排出量は微減傾向にあり、それに伴って「市民1人1日当たりのごみ排出量」及び、「廃棄物のリサイクル率」も全体的には、ほぼ同程度で推移している。

5 まとめ(課題の抽出とその解決に向けた取り組み)

施策の課題 (現状の問題点)	課題を解決し、施策の実現を図るための取り組み方針	
	課題解決の方向性	具体的な改善策・取り組み内容
ごみの減量化とリサイクルに対する市民の意識が低い	3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進	・ごみの減量やリサイクルの推進のためには、意識を持って努力・行動することが必要である。ごみの発生抑制、再利用及び再資源化の取り組みの推進のため、市の広報媒体を活用した周知とともに、地域との連携による排出実態の把握や排出ルール徹底に努める。 ・地域(自治会)や教育委員会(小学校)と連携して、ごみ減量化とリサイクルの推進について、出前講座等の説明会を行う。